

2025年度第2四半期 決算説明資料

2025年10月29日

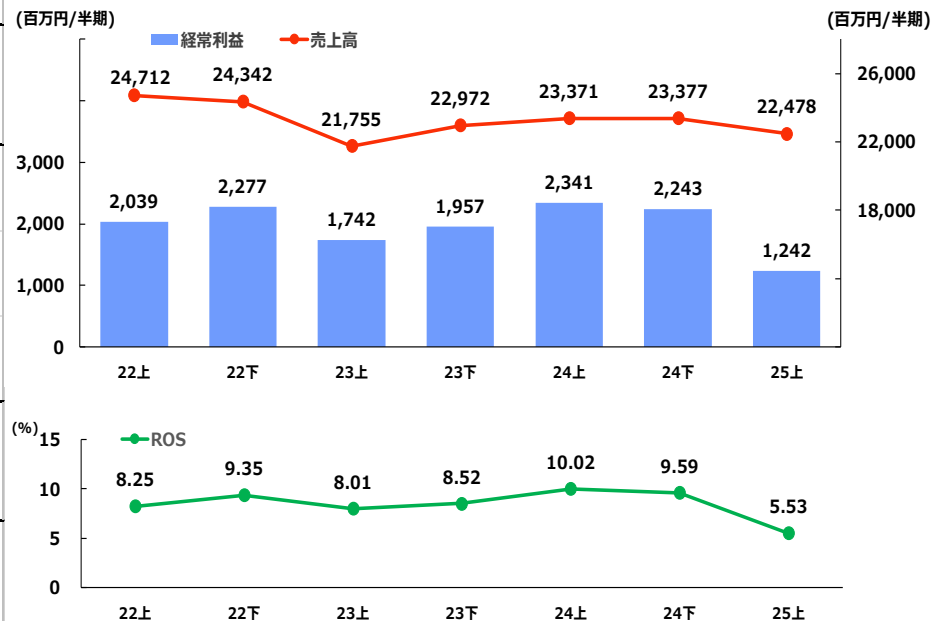
連結売上高・経常利益推移（半期毎）

（百万円/半期）

		24上	25上	増減
セグメント	売上高	23,371	22,478	▲ 893
	日本	20,618	20,115	▲ 503
	タイ	2,025	1,932	▲ 93
	中国・韓国	727	431	▲ 296
セグメント※	営業利益	2,318	1,194	▲ 1,124
	日本	2,113	1,078	▲ 1,035
	タイ	92	65	▲ 27
	中国・韓国	150	70	▲ 80
	経常利益	2,341	1,242	▲ 1,099
	親会社株主に帰属する四半期純利益	1,609	902	▲ 707

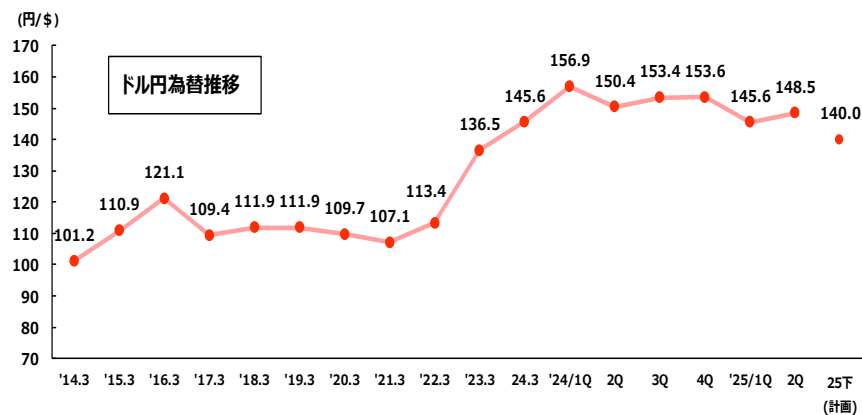
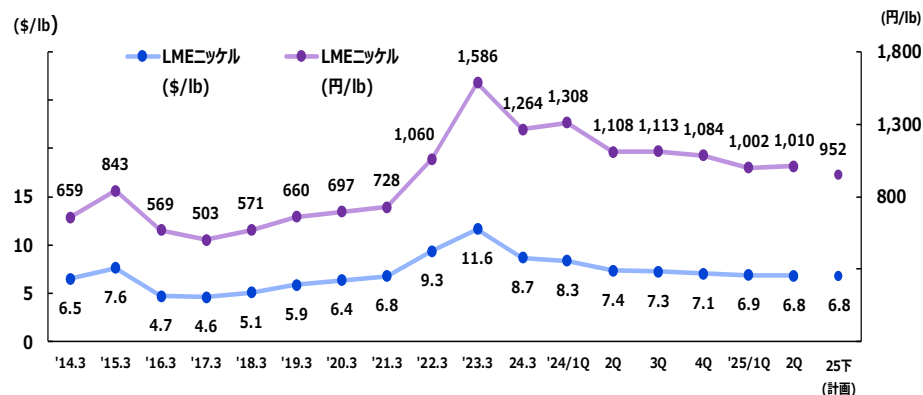
サマリー（前年同期比）

★日本は金属繊維が堅調も太陽光パネル向けステンレス極細線の需要が大幅減、海外はステンレス鋼線・金属繊維とも減収となり、連結で減収減益



※セグメント利益調整前のため合計とは一致しない

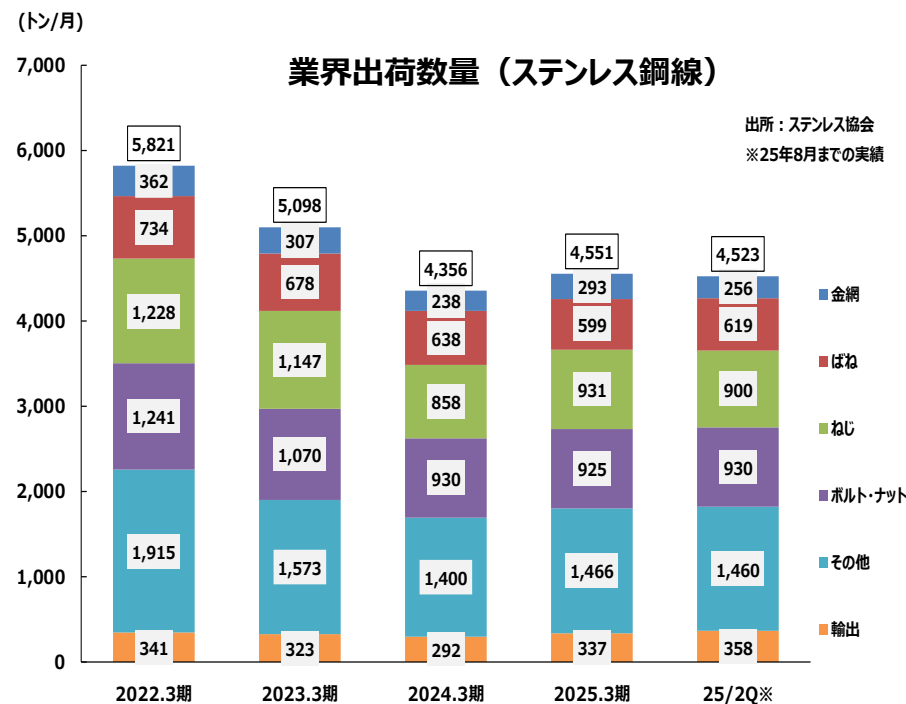
LMEニッケル価格 為替レート



サマリー

- ★ LMEニッケル価格は緩やかな下落基調継続
- ★ 業界出荷数量は23年度に底打ちも低調に推移

業界出荷数量（ステンレス鋼線）

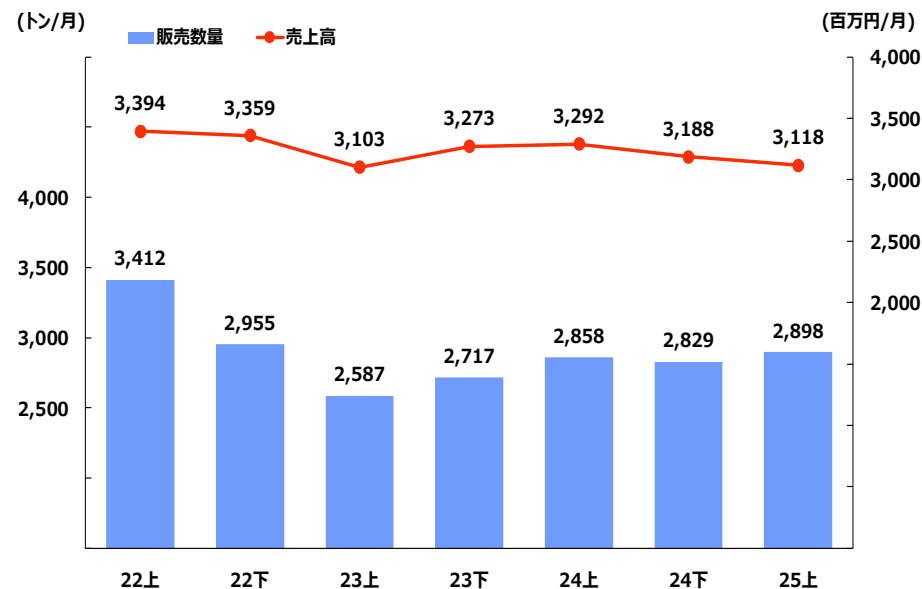


部門別売上高の状況（ステンレス鋼線）

		24上	25上	増減
販売数量 (トン/月)		2,858	2,898	40
セグメント	売上高 (百万円/月)	3,292	3,118	▲ 174
	日本	2,927	2,777	▲ 150
	タイ	337	322	▲ 15
	中国・韓国	27	17	▲ 10

サマリー（前年同期比）

- ★ 中国での太陽光発電パネル在庫調整継続で極細線が大幅減
- ★ 高機能・独自製品の一部アイテムで数量増

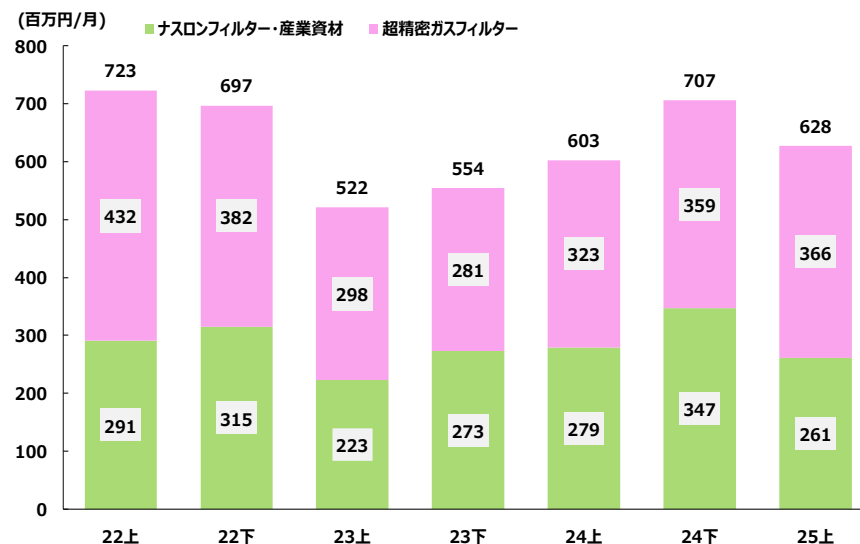


部門別売上高の状況（金属繊維）

売上高 (百万円/月)		24上	25上	増減
超精密 ガスフィルター		323	366	43
ナスロン®フィルター 産業資材		279	261	▲ 18
合計		603	628	25
セグメント	日本	508	574	66
	タイ	-	-	-
	中国・韓国	93	53	▲ 40

サマリー（前年同期比）

- ★ 超精密ガスフィルターは回復傾向、米国関税回避の仮需も加わり増加
- ★ ナスロン®フィルターはポリエステルやレーヨンなどの化合繊維用が中国向けで大幅減



	2025.3	25上	増減
高機能・ 独自製品 (百万円/月)	2,587	2,443	▲ 144
汎用品 (百万円/月)	1,308	1,303	▲ 5
高機能・ 独自製品比率 (%)	66.4	65.2	▲ 1.2

高機能・独自製品一例

★ステンレス鋼線

・ばね用材

高強度や高耐熱、超非磁性のニーズに応じたオーダーメイド製品。
医療関係や精密電子機器、次世代の水素社会を支える素材

・極細線

線径100μm未満の製品を総称し、高精度・高細密が要求される太陽光発電パネルや電子部品の製造プロセスに欠かせない素材

★ナスロン®フィルター

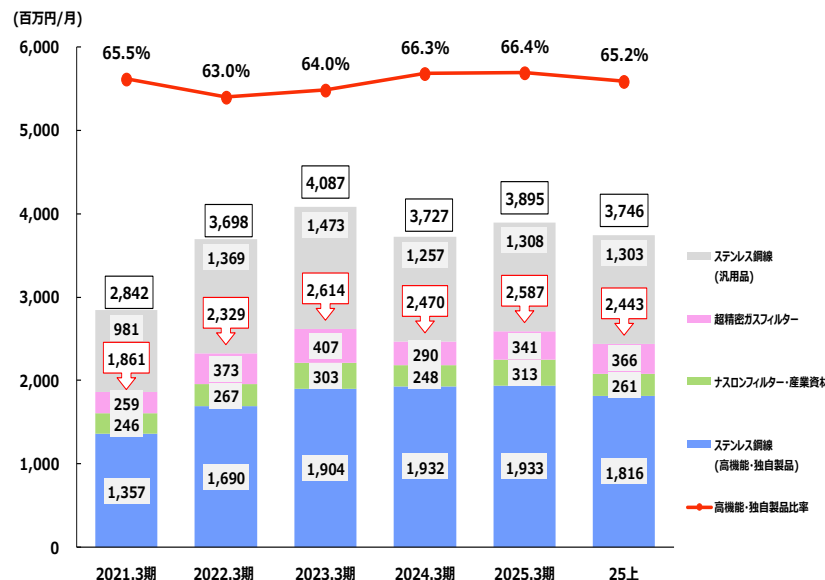
ステンレス鋼繊維ナスロン®を用いた高機能メタルフィルター。高強度、高耐熱で耐食性も優れており、フィルムや樹脂、炭素繊維などの製造の濾過プロセスで利用

★超精密ガスフィルター

ナスロン®をもとに製作したメタルメンブレン（膜）フィルター。半導体・フラットパネルディスプレイ等の生産過程でガスの濾過に利用され、半導体製造装置などに組み込まれる

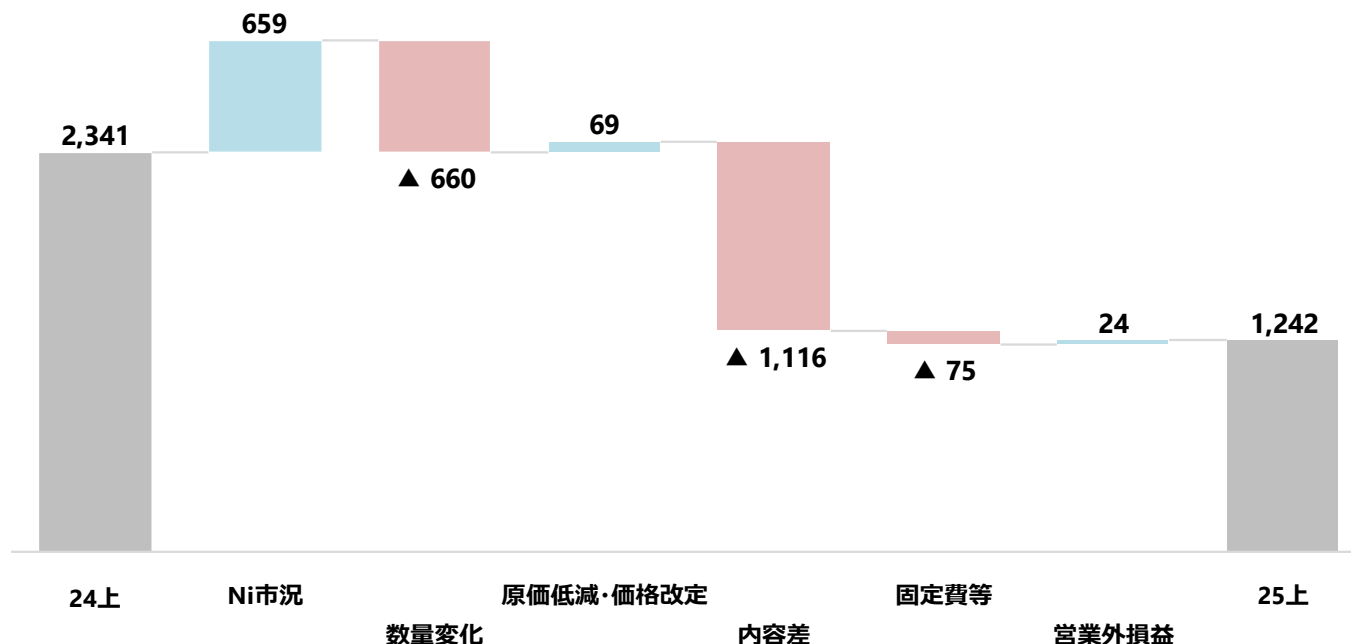
サマリー（前期比）

- ★ステンレス鋼線はばね用材や自動車向けの一部アイテムで増加したものの、極細線減少の影響大
- ★超精密ガスフィルターは回復傾向、ナスロン®フィルターは2Qで大型案件なく減少



経常利益の変化要因（前年同期対比）

（百万円/半期）



サマリー

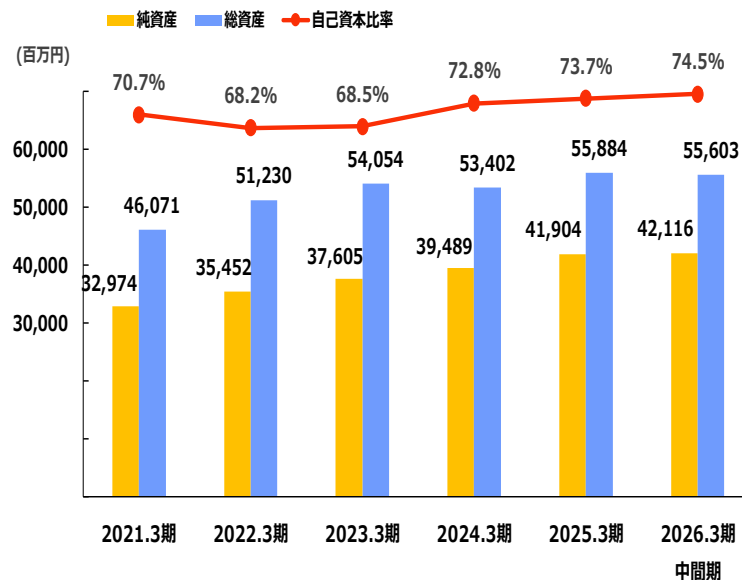
- ★ Ni市況：Ni価格下落に伴う材料仕入値下がり益の増加
- ★ 数量変化：ステンレス鋼線の販売量微増も、極細線数量減ほかによる稼働損が増加
- ★ 内容差：極細線の粗利大幅減、金属繊維部門はほぼ前年同期並み
- ★ 固定費：労務費増（ベースアップ実施）

総資産・純資産・自己資本比率

単位：百万円	24年度末	25年度 中間期末	増減
流動資産	38,121	36,996	▲ 1,125
現金及び預金	17,065	16,574	▲ 491
売上債権	9,769	8,817	▲ 952
棚卸資産	10,947	11,250	303
固定資産	17,763	18,606	843
有形固定資産	15,745	16,589	844
資産合計	55,884	55,603	▲ 281
負債合計	13,980	13,487	▲ 493
仕入債権	6,479	6,690	211
退職給付に係る負債	4,212	4,286	74
純資産合計	41,904	42,116	212
株主資本	39,393	39,465	72
負債・純資産合計	55,884	55,603	▲ 281

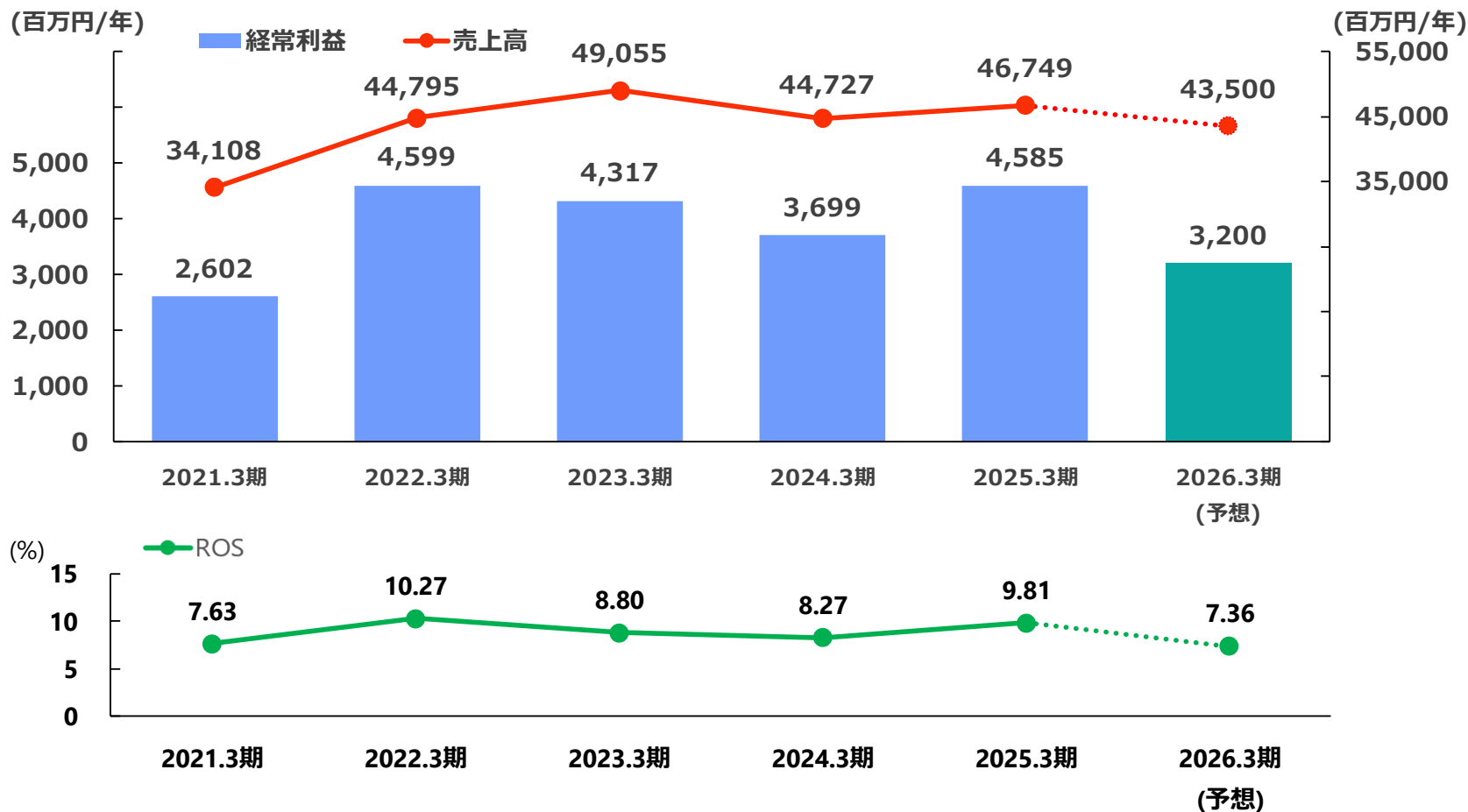
サマリー（前期末比）

★ 極細線や極細ばね用材増産
に向けた基盤整備、設備投資
を推進中



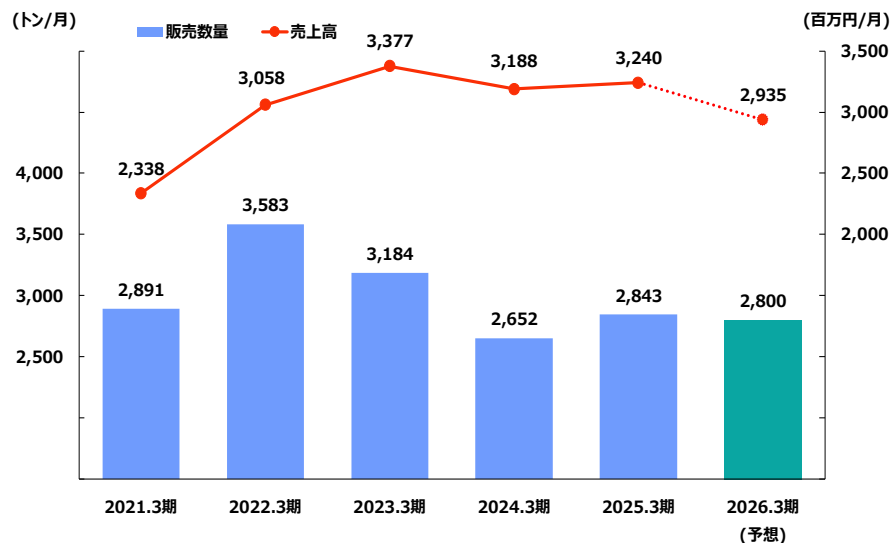
2026.3期 連結業績見通し

25年4月28日公表の業績見通しを維持

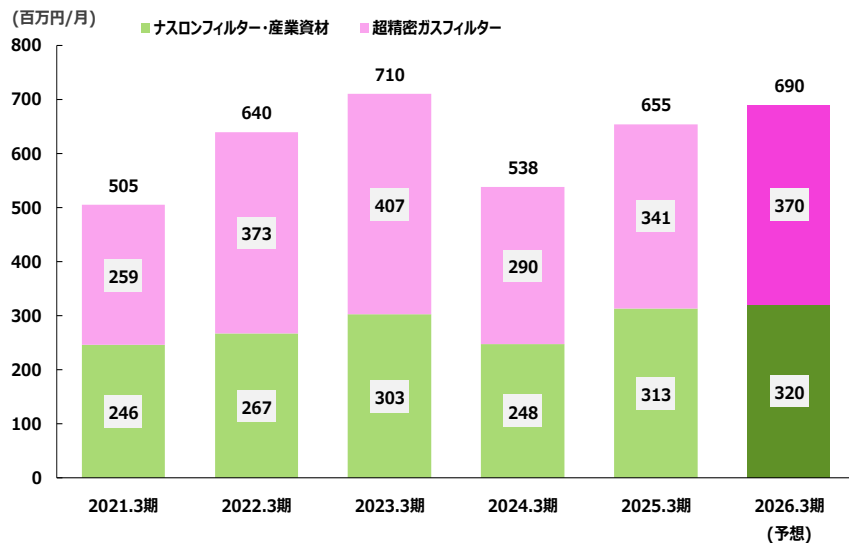


部門別と高機能・独自製品の売上高の見通し

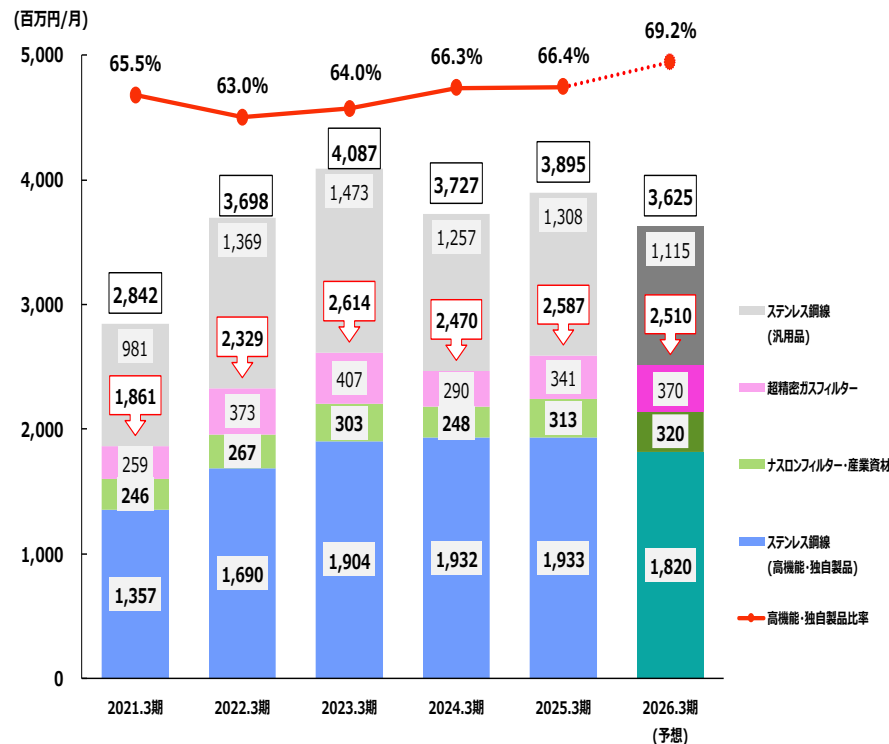
＜ステンレス鋼線＞



＜金属繊維＞



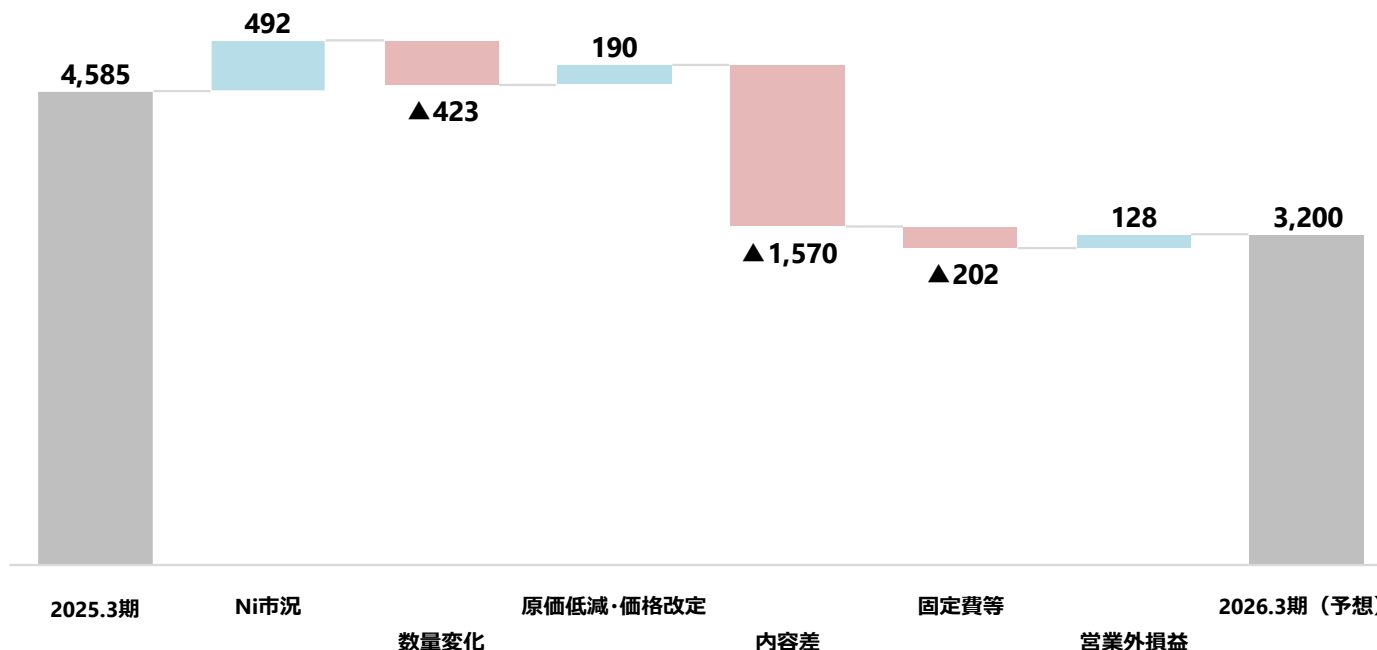
＜高機能・独自製品＞



★ サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の拡販を推進

経常利益の変化要因（当期予想前期対比）

(百万円/年)



サマリー

- ★ Ni市況：Ni価格下落に伴う材料仕入値下がり益の増加
- ★ 数量変化：極細線はじめステンレス鋼線の販売量減少による稼働損増加
- ★ 内容差：極細線の粗利大幅減、金属繊維部門は堅調
- ★ 固定費：労務費増（ベースアップ実施）

2026.3期 配当見通し

	2025.3期		2026.3期	
	中間期	通期	中間期	通期（予想）
経常利益 （百万円）	2,341	4,585	1,242	3,200
当期純利益 （百万円）	1,609	3,250	902	2,300
配当 （円／株）	28	56	16	42
配当性向 （％）	53.4％	52.8％	54.4％	56.0％

〔株主還元の考え方〕 連結配当性向50%程度を目途に還元



(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で利用される場合におきましても、各自の判断と責任において利用されるものであり、本資料にある情報の利用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。